

《カブトムシの森・アカマツ林作業における活動世話役の役割》

仕事内容	
事前準備	<p>①現地下見(作業範囲・作業内容、企画立案のための現地情報収集、危険箇所や注意事項、危険生物の確認)</p> <p>②森会メンバーリストによる会員への活動案内(日時・場所・活動内容など)送付</p> <p>③実施計画書の作成及び道具チェックリストへの必要資機材の当初計画の記入、役員メンバーリストでの役員等への実施計画書送付</p> <p>注1：実施計画書の内容は「実施計画書例」を参照のこと</p> <p>④参加者の確認及び助役・道具係・撮影係の担当者決定</p> <p>⑤助役・道具係・撮影係への担当依頼と、「実施計画書」及び「活動補助係の役割」をメールにて事前送付</p> <p>注2：「実施計画書」を参加者数分、「活動補助係の役割」を3部、「活動実施記録(振り返り)」・「道具チェックリスト」を各1部事前に印刷しておくこと(以上の印刷部数は最低数)</p> <p>注3：悪天候等で中止とする場合は、当日朝7時半頃までに森会メンバーリストで会員全員に連絡</p>
センター集合時	<p>①参加者の集合確認、及び実施計画書に基づいて作業の目的・範囲・内容、注意事項等の説明</p> <p>②準備運動、その後活動場所へ移動</p> <p>注4：腕章や救急箱、振り返り用紙、道具チェックシート、カメラ等の準備、名簿への参加者名記入、実施計画書の配布等は助役・道具係・撮影係等の補助係に依頼</p>
作業場所到着後	<p>①現地到着後、班分けや作業範囲・内容、注意事項について説明し、道具を分配</p> <p>②作業開始後、参加者が指示通りかつ安全な作業を行っているかを巡回しながら確認、何か問題があれば参加者に適宜注意・指導</p> <p>注4：巡視に支障がない範囲であれば、世話役も作業に加わることができる</p> <p>③作業時間に注意して適宜休憩や給水を指示</p> <p>④作業予定時間や作業の進行状況を考慮して作業終了を指示(その後道具係が道具確認)</p> <p>⑤事故やケガ等の有無確認後、当日の作業範囲や内容について現地で振り返りを実施(現地振り返り)</p> <p>注5：作業終了後あるいは昼休み(早退者がいる場合など)に全員の集合写真を撮影する(時間等の決定は撮影係が行う)</p>
センター帰着後	<p>①参加者の確認と整理体操を行った後、全員に当日の活動等に関する感想などを聞く(事後振り返り)</p> <p>②世話役活動振り返りへの記入(その間に道具係統括のもと道具の手入れ及び収納)</p> <p>注6：事後振り返りあるいは道具手入れの間に、参加者全員に活動実施記録(参加者振り返り)用紙に感想等を記入してもらう(記入の依頼等は助役が担当)</p> <p>③後片付け後解散</p>
活動終了後	<p>①帰宅後、活動報告を作成し、森会メンバーリストにて全会員に送付</p> <p>注7：活動報告の書式等については、「活動報告文例」を参照のこと</p>
メール連絡先	<p>森会メール：morikail@googlegroups.com</p> <p>森会役員メール：morikai-yakuin@googlegroups.com</p>

《活動時の世話役補助のための役割分担表》

区分	仕事内容
助役	<p>【活動開始前】</p> <p>①腕章や活動実施記録用紙、救急箱、活動案内用板の準備</p> <p>②活動実施記録用紙への必要項目の記入(参加者名は参加者自身に記入してもらっても可)</p> <p>③参加者の最終確認、及び世話役が準備した「実施計画書」と腕章の参加者への配布</p> <p>④その他世話役からの依頼事項など世話役の仕事の補助(活動中・後も含む)</p> <p>【活動終了後】</p> <p>⑤参加者の確認</p> <p>⑥活動実施記録(振り返り)への参加者への記入依頼と確認</p> <p>⑦腕章や救急箱、活動案内板の回収とボランティアルームへの収納</p>
道具係	<p>【活動開始前】</p> <p>①道具チェックシートを世話役より受け取る</p> <p>注1：当日渡された道具チェックリストの数量に変更があるかどうか、事前に世話役に必ず確認のこと</p> <p>②センター受付にて倉庫のカギを借用(道具・機材持ち出し後に必ず返却のこと)</p> <p>③チェックリストに従って資機材の倉庫からの持ち出し及びチェックリストへの記入</p> <p>注2：持ち出しは全員で行い、道具係はチェックリストに記入</p> <p>【昼休み】</p> <p>④早退者や道具数量が多い時など、必要に応じ道具員数を中間確認しチェックリストへ記入</p> <p>【活動終了後】</p> <p>⑤道具・機材員数などを現地で最終確認し、チェックリストへ記入</p> <p>⑥センター到着後、倉庫のカギを借用するとともに、道具・機材を手入れ(参加者全員で手入れ)</p> <p>⑦道具・機材の倉庫への搬入(参加者全員で実施)</p> <p>⑧倉庫のカギをセンターへ返却</p>
撮影係	<p>【活動開始前】</p> <p>①センター受付にて森会ロッカーのカギを借用(使用後に必ず返却のこと)</p> <p>②森会ロッカー中のカメラケースを取り出し、デジタルカメラ、三脚の準備、併せて予備バッテリーを充電</p> <p>注3：2個のバッテリーのうち、カメラケース内の充電器にセットされた使用済バッテリーを活動前に必ず充電のこと(デジカメ内バッテリーは前回の活動終了後に充電したものが入っている)</p> <p>【活動撮影時の留意事項】</p> <p>③作業エリアの作業前と作業後の写真、全員の集合写真を必ず撮影のこと</p> <p>注4：早退者がいる場合には、該当者の早退前に全員の集合写真を撮影のこと</p> <p>④極力全ての活動項目をカバーすると共に、参加者全員が少なくとも一回は登場するよう配慮</p> <p>【活動終了後】</p> <p>⑤写真を多数撮影した場合は、活動終了後に1活動30枚程度になるよう不要なデータを消去</p> <p>⑥バッテリーを活動開始前に充電したものと交換し、デジカメのみを自然観察センター森会担当者へ渡す</p> <p>注5：このデジカメデータは、センター担当者が森会メンバーリストにて会員へ配布後、森会カメラケースにデジカメを収納してもらうことになっている</p> <p>⑦使用済みバッテリーを充電器にセットし、三脚と一緒にカメラケースに入れてロッカー内に収納。ロッカーのカギをセンターに返却</p>
書類等の 収納場所	<p>○腕章や活動記録用紙、道具チェックシート：ボランティアルーム左奥ロッカーの1段目</p> <p>○救急箱・活動案内板：ボランティアルーム入口右側の片開ドア押し入れ内</p> <p>○地下倉庫カギ：センター受付横のボード</p> <p>○森会用ロッカー：センターの階段を下りたところのロッカー(カギはセンター受付横のボード、仮面ライダーのキーホルダー)</p> <p>注5：収納場所がわからない場合は、世話役あるいは経験者に確認のこと</p>

センターの体制が変更になった場合、センターに関係する事項、特に撮影係の手順等が変わる可能性があります。

実施計画書（油山・通常活動用）

活動日	令和 年 月 日（ ）		世話役名	
プログラム名			助役	
目的			道具係	
作業内容			撮影係	
募集方法・時期	日前にメールリストで発信		参加予定者数	
活動場所		集合時間	解散時間	
【参加者持ち物】 帽子、いぼつき軍手、タオル、昼食、飲み物、必要に応じて着替え、雨具				
【服装】 森会スタイル（長袖・長ズボンで安全に作業ができる動きやすい服装）				
時刻	プログラム	担当	場 所・内 容	その他
				早退者：
【天候による変更プログラム】				

【安 全 対 策】

想定される危険	対 策	徹底する方法

関係先への届け出・連絡等：

センターからの指導事項等：

活動実施記録（振り返り）

森を育てる会

年 月 日 ()

活動名：				活動内容：			
世話役：		助役：		道具係：		撮影係：	
参加者氏名	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.
	8.	9.	10.	11.	12.	13.	14.
	15.	16.	17.	18.	19.	20.	21.
	22.	23.	24.	25.	26.	計 名	

除伐記録	総本数：	樹種：	直径： ～
	備考：		

【世話役振り返り】

- ・活動全般に関する感想
- ・安全面
- ・事故&ヒヤリとした事
- ・その原因
- ・対策

【参加者の振り返り・感想】

（足りない時は裏面へ記入のこと）

《実施計画書例》

実施計画書(油山・通常活動用)

活動日 令和4年3月27日(日)		世話役: 国広		
プログラム名: 「アカマツ林整備作業」		助役:		
目的: 1. 広葉樹除伐・材処理(C、D地区) 2. シダ・萌芽枝刈り(E、F地区) 3. 作業道の補修 4. 柏陵高校研修の体験伐倒木の材処理(A、D地区)		安全世話役:		
募集方法、時期: 1週間前にメーリングリスト発信		参加予定者数 名		
活動場所 アカマツ林	集合: 9:30	解散: 15:30		
【参加者持ち物】 帽子、いぼつき軍手、タオル、 昼食、飲み物 必要に応じて着替え、雨具 【服装】 森会スタイル(白っぼ いもの)	【運営者準備品】 救急箱(1)、腕章(人数分)、 剪定鋏(人数分)、中厚鎌(3)、 ナタノコ万能ノコ(人数分)、 ゾウリンノコ(1)、大ノコ (1)、高枝ノコ(1)、枝切り鋏(2)、 刈込鋏(3)、ヘルメット(人数分)、 ヘルメット(必要数)、 伐倒セット(1)、伸縮ポール(1)、 唐鍬(2)、鳶口(2)、竹熊手(1)、 掛矢(1)、チェーンソー一式(本体、燃料、 オイル、チャップス、工具箱)、 消毒液(一式)	記入不要		
目標: 植生遷移を防ぐための広葉樹除伐 及び アカマツ幼木の生長を阻害する周辺の草刈り				
時刻	プログラム	担当	場 所 ・ 内 容	その他
9:30	打ち合わせ	国広	作業説明、安全事項の確認 各係決め、道具準備	●道具係() 倉庫鍵受渡し 持ち出し・返却 記録作成
10:00	準備運動		炭焼き窯前	●お茶係(-)
10:10	作業準備		作業の班分け、作業内容等の確認	
10:20	作業開始		班に分かれて作業開始	
11:50	午前作業終了		<昼食・休憩>	
12:40	午後作業再開		午前中の作業継続	●デジカメ係 ()
14:40	作業終了 整理運動		道具確認、現地での振り返り 炭焼き窯前	撮影後 20 枚程 度選んで小川さ んに渡す
15:00	センター着		道具確認・整備・片づけ及び振り返り	
15:30	解散			
シュンラン、オケラ、キキョウ、イチヤクソウ、ヒヨドリバナなどの貴重植物(赤クイ等でマ ーキング済)に十分注意して作業してください。(特にシュンラン)				

安全対策

下見	3月16日実施	無理しない! 気を抜かない! 過信禁物! 足元注意!	
想定される危険		対 策	徹底する方法
●伐倒時の事故		●伐倒5原則の徹底[上方、前方(伐倒方向)、周囲、足元、退避方向) 近接作業・上下作業の禁止 作業者間のコミュニケーション	●複数人での作業と見張り、リーダーの声掛けと笛合図の徹底 伐倒方向への立ち入り禁止
●斜面での負傷		●無理な態勢での作業をしない 足場の確保に留意する 上下位置で作業しない	●作業リーダーを中心に現場で確認
●刃物での負傷		●軍手着用、隣接作業の禁止 正しい道具の使い方確認	●作業前にリーダーが注意喚起 作業相互の声掛け
●道具放置による事故		●剪定鋏、ノコはベルトに装着 作業現場で適切な置き場所を確認 (カマ、クワ等)	●事前説明、現地での声掛け カマ等のマーキングテープ確認
●動力機械事故(本人)		●機械の点検、安全な使用法の徹底	●作業前の確認、防護服着用、 30分程度での交代作業
●動力機械事故(他者)		●十分な距離、周囲を確認	●現地での声掛け
●危険生物 マダニ		●ダニ侵入を防ぐ服装、防虫スプレー	●作業後のダニ付着チェック
●熱中症		●適宜の休憩、水分補給	●リーダーの声掛け

※新型コロナウイルス対策: 新型コロナウイルス対策チェックリストにて周知・確認する

関係先への届出・連絡等:

施設(レンジャー)からの指導事項等:

【活動報告様式（文例）】

（記載上の注意）

- ・参加者名、参加者振り返り以外に個人名は記載しない。
- ・参加者名、参加者振り返りはホームページ掲載時には削除する。
- ・文字は「HG丸ゴシック M-PRO」10ポイントで記載し森会メーリングリストで報告。

活動報告例

- 活動日時：2023年1月29日(日) 9:30~16:00
- プログラム名：カブトムシの森作業 クヌギの伐採、草刈り
- 目的：クヌギの萌芽更新 ササの除去
- 活動場所：カブトムシの森A、C地区
- 参加者：11名

静間（世話役）、川上（助役）、国広（安全）、馬場（道具）、田中（撮影）、松雪、新牛込誠、新牛込寛、新牛込雅、福宿、長澤

■活動概要：A地区（直径29cm、27cmクヌギの伐採）、C地区（直径38cmのクヌギの伐採、ササ刈り）

■活動内容：

1月29日（日）にカブ森でクヌギの伐採をしました。雨が心配でしたが、終日曇りで推移して、気温も数日前の最強寒波の頃からすれば上がって来ていたので、作業には好ましい天気でした。

C地区東屋に道具を置いた後、作業に先立って、1月8日に作ってC地区並びにA地区に積んでおいた檜木用材を、車に搭載できる場所まで持ち上げました。作業前の良いウォーミングアップでした。

東屋に戻って作業内容の確認をした後、A地区とC地区の2班に分れて作業に取りかかりました。

（以下中略）

■世話役振り返り

萌芽更新のための伐採なので、本来一斉伐採しなければならないのですが、本数が多い一方人手が追いついていないのが実情で、今日もA地区で2本、C地区で1本の計3本がやっとでした。天気にハラハラさせられましたが、目標だった3本が伐採できてホッとしました。

一連の安全確認の流れ、ロープの使い方など、皆さんが安全な伐倒に気配りされているのが心強かったです。

■参加者振り返り

- ・倒す方向に向けての受け口の印づけなど重要だと思いました。

鋸はまっすぐ水平に切ることの難しさを実感。皆さんうまいです。

安全面に常に気を配ってあるのが素晴らしい。自分も気をつけないと思いました。（田中）

- ・久しぶりの伐倒作業、特に安全に注意して出来ました。（馬場）
- ・今日は雪が降って寒かったが、クヌギ3本伐り、充実した一日であった。（川上）

（以下略）